

宇治市社会福祉協議会

性格及び目的

急速な高齢化・核家族化等の進行により福祉ニーズの増大とその多様化が顕著となりこれへの対応が緊急の課題となっている。また、児童、高齢者、障がい者等についても可能な限り地域社会の中で生活できる環境づくり等を推進していこうという考え方が強まっている。

こうした要求にこたえるため地域社会を基盤とする福祉サービスの総合的な取組みとして「地域福祉の推進」の中核的役割を担っている組織が市町村社会福祉協議会であり、宇治市社会福祉協議会も、市民ぐるみで民間の社会福祉について協議し、宇治市の福祉を推進している組織である。また、市民のみならず、宇治市やその他の福祉関係団体との連携を保ちながら、地域における社会福祉法人との連携・調整役としての役割に従事し、宇治市の福祉を民間の立場で効果的に運営していこうとするものである。

根拠法令

◇社会福祉法 第109条

事業の目的

I 寄せられる「相談」に丁寧に向き合い、仕組みづくりや支え手育成支援につなげる

事業の概要および現況

1. 各種相談事業の実施

市民のさまざまな困りごと悩みごとを、気軽に持ち込める相談窓口として、「ふれあい福祉センター」を設置し、一人ひとりが自分の悩みを解決できるよう、各種相談事業を実施した。法律相談については、平成30年度から1日10名上限から8名上限へ変更し、運営した。

ふれあい福祉センター相談実施状況と推移

(単位：件)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
福祉なんでも相談	391	279	190	230	98
法律相談	488	462	404	386	359
登記相談	167	149	115	105	139
年金・社会保険相談	12	6	3	3	4
多重債務相談	25	8	18	9	24
成年後見相談	12	8	13	9	9
合計	1,095	912	743	742	633

2. 各種資金貸付等の実施

生活福祉資金は、国及び府の原資でもって、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して、暮らしていく上で一時的に資金が必要になった場合、世帯に対して低利で資金を貸付するとともに、当該世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるようにすることを目的としている。

1) 生活福祉資金等決定件数と貸付金額

生活福祉資金 (単位：件 [千円])

年度 区分	26	27	28	29	30
生活支援費	8 [6,080]	2 [1,181]	0	0	0
生活支援費 (増額)	9 [3,774]	4 [2,100]	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0
住宅入居費	0	0	0	0	0
臨時特例 つなぎ資金	0	0	0	0	0
生業					
技能習得					
療養・介護等	31 [5,321]	25 [5,881]	23 [5,985]	23 [8,324]	15 [10,859]
住宅					
一般福祉					
緊急小口	20 [1,958]	14 [1,370]	12 [1,130]	12 [1,030]	2 [183]
教育／教育支援	48 [13,584]	61 [15,342]	65 [17,853]	52 [16,972]	61 [32,033]
教育／就学支度	47 [21,339]	60 [27,094]	62 [29,327]	47 [22,282]	54 [19,795]
不動産担保型 生活支援資金	0	0	0	0	0
合計	163 [52,057]	166 [52,968]	162 [54,295]	134 [48,608]	132 [62,870]

2) ぐらしの資金に関する貸付相談・資金貸付

※宇治市からの受託事業。詳細は、「ぐらしの資金貸付事業（委託）（地域福祉課）」を参照。

資金貸付状況 (単位：件 [千円])

年度 区分	26	27	28	29	30
夏期貸付件数 (貸付金額)	19 [1,900]	16 [1,560]	10 [1,000]	8 [750]	8 [730]
年末貸付件数 (貸付金額)	23 [2,250]	19 [1,850]	16 [1,600]	14 [1,400]	14 [1,350]
合計貸付件数 (貸付金額)	42 [4,150]	35 [3,410]	26 [2,600]	22 [2,150]	22 [2,080]

資金貸付事由 (単位：件)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
生活費	19	21	16	18	20
医療費	9	3	3	1	0
借金返済	0	2	1	0	0
失業	5	4	4	1	0
交通事故	0	0	0	0	0
養育	0	0	0	0	0
その他	9	9	2	2	2

3) 住宅支援給付事業

平成 21 年 10 月より、失業により住宅を喪失またはその恐れのある世帯を対象にした賃貸住宅家賃の給付を行う、住宅手当支給事業が開始され宇治市より委託を受けて実施。

※新規受付については平成 25 年 3 月末まで、支給については平成 25 年 12 月末まで。

平成 25 年 4 月 1 日からは住宅支援給付事業として事業実施。

住宅支援給付件数 (単位：件)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
新規	14				
延長支給	11				

※平成 26 年度をもって受託終了

3. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）の実施

- 1) 福祉サービスの利用方法や日常生活上の手続きの援助、金銭管理などをすることが一人では不安な高齢者・障がいのある方に生活支援員が定期的に訪問し援助を行っている。

契約者数・終了・解約者数 (単位：人。カッコ内は生活保護受給者数)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
新規契約者数	11 (6)	14 (8)	10 (6)	10 (5)	13(5)
終了・解約者数	3 (3)	6 (3)	6 (2)	7 (5)	14(10)
年度末利用者実数	29 (18)	37 (22)	41 (25)	45 (26)	43(18)

相談調整等の件数の推移

(相談・連絡調整活動の実施状況)

(単位：回)

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
平成 26 年度	1,250	1,040	1,888	276	4,454
平成 27 年度	1,399	685	3,151	2	5,237
平成 28 年度	1,105	379	3,834	13	5,331
平成 29 年度	952	280	3,245	5	4,482
平成 30 年度	297	270	1,965	7	2,539

2) 山城北中部広域社協合同講座の実施

福祉サービス利用援助事業を啓発する機会と専門員の資質向上を目的に平成30年度は、山城北中部の7市町社協（宇治市・城陽市・久御山町・八幡市・京田辺市・井手町・宇治田原町）と京都府社協との協働にて、視察研修及び生活支援員向けの講座と意見交換会を以下の通り実施した。

①視察研修

実施日 平成30年9月6日
 実施場所 ハートピア京都、京都家庭裁判所
 実施目的 福祉サービス利用援助事業の専門員の資質向上
 参加者 各市町村社協専門員、府社会福祉協議会担当職員
 内容 法テラス京都との意見交換、京都家庭裁判所見学

②講座と意見交換

実施日 平成31年2月6日
 実施場所 文化パルク城陽
 実施目的 当事業に携わる生活支援員の資質向上
 参加者 各市町村社協生活支援員
 内容 京都府内の福祉サービス利用援助事業利用者の現況について
 その人らしさを活かせる支援とは～利用者と生活支援員の付き合い方～

3) 福祉サービス利用援助事業の啓発に関する取り組み

NPO 法人山城権利擁護ネットワーク主催 法人後見サポーター養成講座への講師派遣

4. 活動団体への支援

1) 当事者団体・ボランティア関係団体との調整・支援

本会に寄せられた情報、相談から、各種団体とのつなぎを行った。

当事者団体や、当事者の声、意見を聞き、課題解決のために活動をしている団体へ宇治市共同募金委員会と連携協働して支援をした。また、平成30年度から新規事業として「宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業」を実施した。

「宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業」は当事者の声に寄り添うことを念頭に、ひきこもり当事者、当事者家族、支援団体との現状の聞き取りを行った。また、財政面の支援として「公募型地域福祉活動支援助成金」として、①子どもの貧困、②ひきこもり、③地域福祉活動の担い手確保を対象とする事業に対して、助成金を交付した。

2) 財政的支援

宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業「公募型地域活動支援助成金」

年度	30
区分	
助成団体数	5団体
助成決定額(円)	419,000

訪問見守りボランティア強化事業助成金

(助成金額単位：円)

年度	26	27	28	29	30
区分					
団体数	19	25	27	20	
助成金額	485,800	536,000	593,500	520,000	

※「訪問見守りボランティア強化事業助成金」から「地域ひとつなぎ事業」へ変更。

5. 在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施

宇治市の委託を受けて実施。平成30年度より市内の要介護2以上の高齢者を介護する人を対象とし、介護者のリフレッシュを目的とした当事者交流事業を開催した。交流会およびレクリエーションの企画し、実施した。

(単位：人)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
花束贈呈	543	505	518		
介護者交流 1	61	54	65	16	(交) 9
介護者交流 2	47	37	37	13	(レ) 6
介護者交流 3					(レ) 23
介護者交流 4					(レ) 21
介護者交流 5					(レ) 8
介護者交流 6					(交) 10

※花束贈呈については、平成 29 年度より宇治市直営で実施

※ (交) は交流会、(レ) はレクリエーション

6. 一人親家庭の新入学児童や交通遺児に対するの激励金の給付

1) 新入学児童への祝い金の贈呈

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
金額 (円)	130,000	85,000	110,000	70,000	60,000
人数 (人)	26	17	22	14	12

2) 交通遺児への見舞金の贈呈

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
金額 (円)	15,000	10,000	5,000	0	0
人数 (人)	3	2	1	0	0

事業の目的

II 関係機関と連携し、安心して暮らせるしくみづくり、支え手の育成支援に取り組む

事業の概要および現況

1. 学区福祉委員会活動の支援

1) 各学区福祉委員会の主な事業への支援

補助金名	補助内容
学区福祉委員会等事業費補助金	・ 事業費補助金 A 区分：3 事業実施分 (150,000 円) を補助 ・ 事業費補助金 B 区分：1 事業実施分 (25,000 円) を補助

2) 一人暮らし高齢者などの会食・配食活動の支援

補助金名	補助内容
一人暮らし高齢者等給食サービス事業補助金	一人暮らし高齢者等への給食サービス事業実施の学区に対し、1 食あたり 350 円を材料費の一部として交付。

3) 一人暮らし高齢者などの見守り、声かけ活動の支援

事業名	補助内容
一人暮らし高齢者等訪問事業補助金	一人暮らし高齢者等に対して、月1回以上の訪問活動、生活支援を実施している福祉委員会について、敬老祝い品や誕生日の記念品に要する経費として対象者一人あたり年間1,000円を上限に交付。

4) 学区福祉委員会補助金交付状況 (全21学区)

(単位：円)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
事業費	3,725,000	3,709,548	3,741,778	3,282,619	3,300,000
給食サービス事業	3,637,200	3,424,400	3,115,700	2,941,050	2,900,100
訪問活動事業	1,946,000	1,901,000	1,849,000	1,821,000	1,765,000
合計	9,308,200	9,034,948	8,706,478	8,044,669	7,965,100

5) 歳末たすけあい「ふれあい事業」補助金交付について (全21学区)

70歳以上の一人暮らし世帯等を対象にした声かけ活動に際し、見舞品やお弁当など、一人当たり上限1,000円までを補助。その他、会食会、世代交流事業も補助の対象としている。

補助金交付状況

(単位：円)

年度	26	27	28	29	30
補助金額	2,469,299	2,499,857	2,535,469	2,523,261	2,343,870

2. 学区福祉委員会連絡協議会への支援

学区福祉委員会連絡協議会の役員会や代表者会議の運営を支援し、運営費助成を行った。また、その事務局として、下記の事業の実施を支援した。

1) 福祉委員交流研修会

実施日 平成30年9月1日 I部(研修)10:00~ II部(交流会)12:20~

実施場所 宇治市産業会館

実施目的 福祉委員会活動に活かす知識を得るとともに、学区福祉委員会の横のつながりの増強及び親睦を図り、今後の学区福祉委員活動の発展に寄与する。

参加者 I部(研修) 19学区55名 喜老会 2名 事務局9名(実習生含む)
II部(懇親会) 18学区49名 喜老会 2名 事務局9名(実習生含む)

内容 I部 ①特殊詐欺の被害から市民をまもる

講師：京都府山城広域振興局 消費生活相談窓口

消費生活相談員 消費教育推進員 木戸 明美 氏

II部 交流会

2) 学区福祉委員会募集強化月間

実施日 平成30年2月1日~3月31日(2ヶ月間)

実施目的 今後も学区福祉委員会の活動を継続していけるように、次世代の担い手の確保に向けて宇治市全学区福祉委員会で取り組む。

内容 宇治市政だより掲載、FMうじ出演、健康長寿フェスポスター・チラシ配布、社協だより福祉委員募集の記事を掲載。また、各学区福祉委員会も個別で口コミを行い、活動者の輪を広げる。

①市政だより(掲載) 2月1日号

②FMうじ(出演) 2月18日

③健康長寿フェス(ポスター掲示) 2月23日

④社協だより(掲載) 3月15日号 特集記事

結果 福祉委員募集強化月間では、54名の新規加入者があった。

3) 福祉委員研修

実施日 平成 31 年 3 月 8 日 13:30～15:30
 実施場所 宇治市総合福祉会館
 実施目的 福祉の保険の正しい知識を得る
 参加者 13 学区 26 名 事務局 1 名
 内容 福祉の保険の基礎知識

4) 第 7 回きょうと地域福祉活動実践交流会

実施日 平成 31 年 2 月 16 日 12:30～16:30
 実施場所 生涯学習施設 ガレリアかめおか
 実施目的 京都府内の地域福祉活動の実践を共有し、今後の活動に生かしていく
 参加者 16 学区 29 名、喜老会、事務局 合計 36 名
 内容
 1. 基調講演 講師：華頂短期大学准教授 名賀 亨 氏
 2. 活動交流 地域福祉活動ポスター（パネル）展示交流
 3. クロージング「地域のファンをつくろう」
 講師：華頂短期大学准教授 名賀 亨 氏

5) 木幡地域へのアクションについて

平成 29 年度末をもって木幡学区福祉委員会が解散された。本会として、地域福祉を推進する上で地域で起こっている福祉課題について地域住民と共に考え、共に解決を目指す場が大切であると考え、下記の通り地域懇談会を開催した。

(木幡地域懇談会開催状況)

	実施日時	実施場所	参加者数
第 1 回	平成 30 年 7 月 28 日（土）10:00～12:00	六地藏公会堂	15 名
内容	動画上映（宇治市内のサロンから） 「”わたし”と”あなた”の思いが重なるとき～”思い”のたすきリレー」		
第 2 回	平成 30 年 12 月 9 日（日）13:30～15:30	木幡地域福祉センター	11 名
内容	「身近な地域で行われている福祉活動」 ・駅前花壇×まちづくり、つながりづくり ・散歩×夜回り ・ラジオ体操×地域づくり		
第 3 回	平成 31 年 3 月 16 日（土）10:00～12:00	木幡地域福祉センター	11 名
内容	知るは側（そば）が大事～木幡地域活動マップづくり～		

3. 住民主体活動への支援・協働

高齢者のみならず、小地域の地域住民による見守り活動に対して、京都府社会福祉協議会の助成金制「地域ひとつなぎ事業」での財政面の支援を行った。

地域ひとつなぎ事業（助成金額単位：円）

年度	30
区分	
団体数	25
助成金額	592,200

4. 宇治ボランティア活動センターへの支援

宇治ボランティア活動センターでは、運営委員会を毎月定例化し実施している。運営委員会同様、役員会も定例開催されており、事前に議論を整理したうえで、運営委員会を開催する体制を継続している。本会事務局からも職員が 1 名、運営委員として運営に参加し、運営委員間の連絡調整等に協力した。

- ・情報紙「パートナー」発行（奇数月）
- ・バリアフリー上映会
- ・ボランティアフェスティバル&おもいの駅伝の実施
- ・ボランティアマッチングサロンの実施
- ・視察研修の実施
- ・運営委員研修
- ・「はじめよう！セカンドライフ」（生涯学習センター、宇治市福祉サービス公社と共催）の実施
- ・宇治市健康長寿サポーター養成講座

ボランティア相談件数の推移 （単位：件）

年度	26	27	28	29	30
相談件数	118	212	211	173	213

※ボランティア活動センター担当職員によるボランティア相談件数をカウント

5. 一般介護予防事業 介護予防普及啓発事業「B型リハビリ教室」の実施

宇治市からの委託事業。地域の住民同士が共に、体操、レクリエーションのプログラムを通じて、介護予防を進めるための教室を開催している。より多くの市民の方に利用していただき、また、活動を支えるボランティアとして参加いただけるように、啓発活動を行った。

開催回数と利用者・ボランティア延数

区分	年度	26	27	28	29	30
開催回数（回）		848	831	832	837	817
利用者延人数（人）		7,291	6,421	6,448	6,334	6,271
ボランティア延人数（人）		11,197	10,572	10,128	10,149	9,935

ボランティア研修会

（単位：人）

区分	年度	26	27	28	29	30
1回目 参加者数		70	67	53	52	54
2回目 参加者数		54	58	36	48	55
3回目 参加者数		60	100	①30、②66	29	40
4回目 参加者数		61	55	72	61	22

※平成28年度は第3回目の内容を2回、開催しました。

ボランティア代表者交流会

（単位：人）

区分	年度	26	27	28	29	30
参加者数				①56、②27		

※平成28年度は2回、開催しました。

6. ふれあいサロン事業の促進

1) ふれあいサロン活動費の助成と活動の支援

身近な地域での孤立を防ぎ、日々の支え合いの仲間づくりを進める目的で月1回以上開催しているグループを支援している。平成30年度より助成金を必要とするサロンは宇治市共同募金委員会が直接、募集・審査・助成を行っている。

新規立ち上げを検討する地域住民に対し、サロン運営経験者との情報交換の場を提供し、サロン活動を広げる努力をした。

サロンの登録の推移 (単位：件)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
登録のみのサロン	13	12	13	13	7
助成金申請サロン	105	107	104	106	114
合計	118	119	117	119	121

2) サロンへの情報提供

サロン運営に必要な民間助成金制度の情報提供を行い、申請に係る相談対応も行った。

また、高齢者サロンを中心に宇治市の保健師や栄養士による出張講座に加えて、各種出前講座や民間医療施設の出前講座の情報提供を行っている。

3) サロン研修会の開催

サロンで活用できる介護予防の健康体操などの情報提供のため、研修会を開催した。(介護予防普及啓発事業「地域参加型 B 型リハビリ」事業の研修会と合同で実施)

参加状況 (単位：人)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
高齢者・障がい者サロン	54	55	72	61	22

※呼びかけ先は一般市民へも広げて実施。

7. 生活支援コーディネーター業務

宇治市からの委託事業。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため、宇治市、宇治市福祉サービス公社と情報共有を行いながら進めている。

平成 30 年度は第 2 層コーディネーターを受託し、槇島地区、岡屋地区を選定して地域版の「宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議」を開催した。

8. 0 歳児を持つ親の仲間づくり支援・子育てに関する当事者支援

1) 「赤ちゃんサロン」「赤ちゃん広場」「赤ちゃんパーク」「おしゃべりキャッチボール」事業

1 歳になるまでの子どもを持つ親同士の仲間づくりや情報交換の場として、「赤ちゃんサロン」・「赤ちゃん広場」・「赤ちゃんパーク」を実施した。参加者の気持ちをほぐすプログラムの後、交流を促すフリーストークの時間を設けるほか、小グループでのおしゃべりタイムを設けるなど、参加者が交流しやすくなるような工夫をしている。

また、同志社女子大学看護学部看護学科の学生を実習生として迎え、地域での子育て支援のあり方や、実際の親子のふれあいの様子、親の喜びや悩みに触れる機会を提供した。

年間延べ参加者数の推移

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
赤ちゃんサロン (妊婦婦～生後 4 ヶ月) (組数)	127	101	111	120	89
赤ちゃん広場 (生後 5 ヶ月～8 ヶ月) (組数)	282	192	205	158	165
赤ちゃんパーク (生後 9 ヶ月～12 ヶ月) (組数)	180	141	151	100	168
おしゃべりキャッチボール (人)	173	152	192	119	57

※おしゃべりキャッチボール事業に関しては

平成 25 年度より

①35 歳以上で第 1 子を出産した母親 ②子どもの発達に不安や悩みのある親
 ③アレルギーのある子どもを持つ親 ④多胎児を育てる親というテーマに変更。
 の 4 テーマを 1 年間でローテーションし、宇治市内の当事者団体や助産師に協力を求めて実施。

平成 27 年度より

①宇治市に転入して 1 年未満の子育て中の親子 ②アレルギーのある子どもを持つ親
 ③多胎児を育てる親という 3 テーマに変更。

2) 子育てサークルなどへの情報提供および広報

宇治市総合福祉会館に常設している子育て情報コーナーで市民向けの各種情報の発信の場を提供した。

9. 身体障害者デイサービス事業（作業型）の実施

宇治市在住の身体に障がいがある方の自立と社会参加促進を目指し、昭和 59 年から実施。平成 15 年度から社会福祉法人身体障害者デイサービス事業所を立ち上げ、支援費制度、そして平成 18 年度から障害者自立支援法の地域生活支援事業の下で運営している。コーラスやヨガなど 9 教室を開催している。

事業実施状況

年度	26	27	28	29	30
利用者数（人）	958	730	695	700	564
教室回数（回）	175	168	164	147	9

10. 身体障害者移動支援事業の実施

平成 18 年 10 月から「宇治市社会福祉協議会移動支援サービス事業所」を立ち上げ、障害者自立支援法・地域生活支援事業の下で運営している。

事業実施状況

年度	26	27	28	29	30
ヘルパー登録者数（人）	30	30	30	31	9※
利用登録者数（人）	20	20	16	14	13
調整件数（件）	291	270	277	230	230
派遣実施数（件）	265	254	264	215	204

※登録者数から実際に稼働したヘルパー数へ変更

11. 宇治市災害ボランティアセンターの運営（平常時）

災害に対して円滑な災害ボランティア活動を行い復旧に努めると共に平常時における防災、減災、災害ボランティア活動への意識向上を推進するため、平成 20 年 3 月 30 日に設立。構成団体数：81（正会員）。

- ・総会および運営委員会：年 8 回
- ・災害時運用訓練：年 1 回
- ・災害ボランティア活動に関する研修会：年 1 回
- ・他市町村訓練への参加：年 1 回
- ・広報、普及啓発活動

- ①ホームページで災害ボランティア活動センター運営状況、府内外の災害状況の発信。
- ②自治会・町内会向け啓発資料として、リーフレット配布を西小倉地域防災訓練等で実施した。

- ・京都府災害ボランティアセンターへの協力
- ・研修、イベント等への参加、協力：年 4 回
- ・講師派遣：年 1 件

12. 宇治市老人福祉センターサークル協議会への支援

宇治市老人福祉センターサークル協議会（USK）の運営支援を行った。

- ・平成 30 年 9 月 25 日 シルバーウエルネス舞台発表大会（文化センター小ホール）
- ・平成 30 年 9 月 29 日、30 日 シルバーウエルネス展示発表大会（宇治市総合福祉会館）
- ・クリーン運動 総合福祉会館内及び会館前広場の清掃 57 名参加
- ・宇治ボランティア活動センター主催「清掃交流会」へ参加協力（8 名）
- ・「月イチうじピョンの『〇〇な話』」、社協だよりへのサークル紹介
- ・管外研修：奈良市南福祉センター：35 名参加

老人福祉センターサークルの推移

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
サークル数	22	21	19	20	22
登録人数（人）	438	402	366	400	420

13. 宇治福祉まっりの開催

参加者、団体、実行委員相互の交流と地域福祉活動の啓発を目的に開催している。

（平成 30 年 11 月 4 日 参加者 6,000 名以上）

参加団体数

参加団体	年度	26	27	28	29	30
	区分					
福祉の店		39	35	34	33	34
ステージ発表		13	12	14	10	14
展示コーナー		30	30	27	23	23
相談コーナー		18	12	16	19	24
子ども広場		9	6	6	6	6
スタンプラリー		9	8	10	9	9
パレード		21				
オープニング※1		16	13	17	18	20

※1 オープニングは 30 秒アピールを行った団体数をカウント。

※ 平成 27 年度よりパレードは未実施。

14. 異業種とのネットワークの構築

京都市町村社協連合会主催の「地域福祉活動の基盤強化のためのネットワークづくり事業」として、学校法人南京都学園京都福祉専門学校、榎島学区福祉委員会、榎島ほっとサロン連絡会、京都ノートルダム女子大学の協力を得て、「超高齢社会における地域福祉課題と次世代を担う若者とのつながり事業」を実施した。その結果、榎島地域に新たな世代交流型のサロン「宇治けんこう楽学広場」が開設された。

15. 京都文教大学との連携によるボランティア活動の促進（京都文教大学委託事業）

平成 23 年度より京都文教大学から「ボランティア演習」科目の業務委託を受け、大学生のボランティア活動のきっかけづくりを始めた。

平成 30 度は 24 名の履修登録があり、24 名の単位認定を行った。大学生が学内にとどまらない活動に参加することを目的としている。

履修生の推移

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
春学期 (人)	20	16	17 (16) ※	5	10
秋学期 (人)	15	12	12	6	14
合計	35	28	29	11	24

※履修登録者としては 17 名だが、単位認定を行ったのは 16 名。

16. 中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業

おおむね首が座った頃からよちよち歩きが始まる頃までの赤ちゃんと親が「赤ちゃんボランティア」として中学校を訪れ、3年生と交流をはかる授業。中学生の質問に答えながら命の大切さについて伝えていると同時に親子の社会参加の機会にもつながっている。本会ではボランティア募集、調整、当日サポート、実施後のフォローを行った。

(平成 16 年度から東宇治中学校で実施。平成 22 年度から宇治中学校、平成 24 年度から南宇治中学校、平成 25 年度から槇島中学校、平成 26 年度から黄檗中学校、平成 28 年度から西宇治中学校でも実施。平成 30 年度は西宇治中学校、槇島中学校では中止。)

「赤ちゃんボランティア」協力者数 ※延べ赤ちゃんボランティア数

年度	26	27	28	29	30
組数	264 組	337 組	271 組	242 組	287 組
実施校数	5 校	5 校	6 校	5 校※	4 校

※平成 29 年度はインフルエンザの流行のため、南宇治中学校での実施が中止となった。

17. 宇治市福祉サービス公社との合同プロジェクトにおける地域課題解決に向けたしくみづくり構築

介護保険制度改正をきっかけに始まった「生活支援体制整備事業」の取組みの中で、宇治市福祉サービス公社と当会の関係を考える機会が増えたことを受け、お互いの組織を知り、お互いの組織を考える機会を持つため平成 27 年度より開催している。平成 29 年度より UI プロジェクトチームとはざまなくし隊チームに分かれ、取り組みを進めてきている。

(宇治市福祉サービス公社との勉強会)

実施日	平成 30 年 8 月 27 日 (火) 18:00～
目的	関係機関等への共同プロジェクトへの取組みの周知。 市内の社会福祉関係者と明日の福祉を考える上で、必要な情報提供と学びの機会、現状の課題を共有する時間とする。
場所	東宇治地域福祉センター
内容	話題提供者 社会福祉法人 こもれび 白土 直子氏 社会福祉法人 宇治福祉園 杉本 一久氏 北宇治地域包括支援センター 森下 良亮氏 当会 島崎 貴士 コーディネーター 大谷大学社会学部教授 志藤 修史氏 グラフィックアシレーター NPO 法人グローバル人材開発センター 肥後 祐亮氏
参加者	市内法人・事業所：33 名 行政：8 名 府社協：1 名 公社：約 50 名 当会：22 名

(狭間なくし隊 勉強会・WANTED！制度の狭間意見交換会の取組み)

実施日	平成 31 年 2 月 26 日 18:30～
目的	“たら” “れば” 意見交換会 ～前向きな妄想が狭間をなくす～と題し、1 つの事例の話聞いた後に、“高齢” “障害” “児童” の分野を越えて、「専門職の立場として」「当事者の立場として」「私」がどう思い、どう考えるかを、話合う機会を設けた。事例検討ではなく、それぞれの専門職の立場からの率直な意見や、当事者であった場合に望むことを、前向きな妄想をしながら意見交換をする場とし、前向きな妄想を共有することで、実際の支援の場での職種間等の狭間をなくしていき、多職種間での顔の見える関係を作り『連携』の輪を広げることを目的として開催した。
内容	「WANTED！！制度の狭間」意見交換会 【“たら” “れば” 意見交換会 ～前向きな妄想が狭間をなくす～in うじ】
参加者	47 名

18. 地域包括ケアシステムによる連携

地域住民と関係者との連携や地域づくりを目的として、平成 24 年度より地域包括支援センター主催の「小地域包括ケア会議」及び宇治市健康生きがい課主催の「地域包括ケア会議」への参加を通じ、連携を図った。

19. 認知症医療連携協議会への参加

3 ヶ月に一度洛南病院にて開催されており出席している。主に、認知症カフェや相談の様子などの報告がされている。

20. れもねいど推進協議会への参加

「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた、認知症アクションアライアンス「れもねいど推進協議会」に参加した。

21. 宇治市自立支援協議会 こども部会への参加

地域共生社会推進事業のかかわりの中で、参加している。

22. 学習支援事業～うじピヨンの学び舎～の実施

平成 29 年度 7 月より、中学校 1 年生から 3 年生の宇治市が適当と求めた生徒を対象に、原則週 2 回の学習支援の実施をした。

主に大学生の学習支援員を募集し、実施している。平成 30 年度は 100 回開催した。

実施状況の推移

年度	29	30
開催回数	75	100
生徒人数 (延べ数)	612	830
学習支援員 (延べ数)	295	402

事業の目的

Ⅲ 法人運営強化

事業の概要および現況

1. 市社協の組織・財政基盤の強化

1) 理事会・評議員会 開催状況 (単位：回)

年度	26	27	28	29	30
区分					
理事会	7	5	7	7	8
評議員会	4	3	5	3	3

2) 会員実績 (単位：円)

年度	26	27	28	29	30
区分					
住民	10,612,500	9,835,000	9,535,500	9,261,000	8,724,500
賛助	244,776	248,300	220,500	233,769	150,572
事業所	1,073,000	1,061,000	954,000	972,000	948,500
団体	553,400	528,700	563,800	594,000	534,901
施設	280,000	291,000	305,000	295,000	308,000
寄付金	1,242,692	1,817,986	1,780,015	1,726,803	1,539,775
特別賛助	977,000	962,900	956,139	873,800	784,900
合計	14,983,358	14,744,886	14,314,954	13,956,372	12,991,148

3) 共同募金運動

共同募金は、民間社会福祉事業の財源確保のため社会福祉法（昭和26年法律第45号）第112条から第124条の規定に基づき、都道府県の区域を単位として全国一斉に行う寄附金の募集であって、その区域内において社会福祉事業または国および地方公共団体を除く更生保護事業を営業者に寄附金を分配することを目的として実施するものをいう。（宇治市社会福祉協議会は宇治市共同募金委員会の事務局を兼ね、募金活動も実施している）

共同募金運動の取組み実績（内訳） (単位：円)

年度	26	27	28	29	30
区分					
戸別募金	8,946,654	8,759,016	8,497,342	8,034,683	7,594,790
グループ募金	1,219,000	1,650,039	1,868,801	1,730,695	1,779,794
街頭募金	415,245	451,622	398,375	354,649	265,064
資材募金	827,500	802,000	738,000	707,000	786,500
学校募金	162,503	213,886	135,898	168,891	89,083
個人募金	98,197	144,980	31,976	83,968	86,214
その他	638,766	930,190	339,832	314,989	75,982
合計	12,307,865	12,951,733	12,010,224	11,394,875	10,677,427

※その他には、京都府共同募金会扱いの募金や繰越金を含む。

4) 歳末たすけあい募金運動の取り組み実績 (内訳) (単位:円)

年度 区分	26	27	28	29	30
戸別募金	8,698,819	8,548,299	8,041,130	7,540,084	7,374,123
その他	445,891	266,309	196,839	359,761	538,004
合計	9,144,710	8,814,608	8,237,969	7,899,845	7,912,127

5) 共同募金配分事業
赤い羽根コラボ助成金

年度 区分	26	27	28	29	30
助成団体数	40 団体	38 団体	34 団体	40 団体	41 団体
助成事業数	86 事業	83 事業	75 事業	84 事業	83 事業
助成決定額 (円)	3,443,000	3,498,000	3,235,000	3,637,000	3,481,000

※平成 29 年度まで宇治市社会福祉協議会が募集・審査・助成を行っていた。

サロン助成金

年度 区分	件数 (件)	補助金交付額 (円)
(既存) 助成金サロン	107	3,295,000

6) 基金運用・寄附の受け入れ・収益事業
ふれあい基金

(単位:円)

年度 区分	26	27	28	29	30
寄附件数 (件)	20	14	22	18	15
寄附金額	1,338,616	5,518,849	56,956,872	1,075,237	903,303
基金積立額	1,338,616	6,618,849	48,435,232	21,176,357	2,010,298
基金取り崩し額	5,000,000	0	9,767,880	7,335,000	0
年度末基金保有額	135,448,737	142,067,586	180,734,938	194,576,295	196,974,993
運用益	2,072,696	1,235,890	326,135	1,019,830	889,163

※基金保有額のうち、50,000,000 円は宇治市からの補助。

ボランティア基金

(単位:円)

年度 区分	26	27	28	29	30
年度末基金保有額	121,788,928	121,788,928	121,788,928	121,788,928	121,788,928
運用益	1,838,243	1,276,339	132,150	317,049	319,042

※基金保有額のうち、50,000,000 円は宇治市からの補助。

7) 収益事業（自動販売機の設置推進）

企業の社会貢献を進める観点で平成 27 年度から様々な法人や事業所等のご理解を得ながら、飲料用自動販売機の設置を進め、その収益を地域福祉活動・ボランティア活動の拡充に活用しました。

年度	27	28	29	30
台数	6 台	14 台	18 台	23 台
収益実績額 (単位: 円)	466,591	1,076,919	1,715,830	2,058,687

2. 広報事業の推進

多角的な広報活動として下記の通り取り組んだ。

- ・ SNS (Twitter、facebook) の活用
- ・ ホームページの運用
- ・ 洛タイ新報との連携による新聞を活用した広報「月イチ・うじピョンのまるまるな話」の掲載（平成 25 年 5 月から実施）
- ・ 広報紙「社協だより」の発行（年 3 回発行）

3. 新春福祉のつどいの開催

長年、地域福祉活動にご尽力されている方の功績を称えとともに、新年を祝いながら福祉活動者同士の交流と新たなつながりの場とした。また、「宇治から始める地域共生社会」と題したパネルディスカッションを開催した。（平成 31 年 1 月 26 日）

参加者数推移

(単位: 人)

区分 \ 年度	26	27	28	29	30
来賓	32	33	37	34	34
被表彰者	91	94	79	76	88
一般来場者・スタッフ	224	207	215	225	195
合 計	347	334	331	335	317

※被表彰者数は当日欠席者含む。来賓・一般来場者・スタッフは当日の実参加者数。

4. 宇治市総合福祉会館の管理運営（指定管理事業）

宇治市総合福祉会館は、市の地域福祉推進の拠点施設として、多くの市民や団体に利用されている。オープンして 30 年が経過し、老朽化による修繕箇所も数多く出てきているが、その都度必要な対応を図っている。

組 織 ・ 機 構

員	住民会員	(会費 1口 : 500円)
	賛助会員	(同上 1口 : 500円)
	特別賛助会員	(同上 1口 : 10,000円)
	事業所会員	(会費 1口 : 3,000円)
	団体会員	(同上 1口 : 3,000円)
	施設会員	(同上 1口 : 5,000円)

評議員	1号 (住民代表機関・団体)	13名
	2号 (福祉専門機関・団体)	11名
	3号 (当事者団体)	8名
	4号 (関連分野機関・団体)	6名
	5号 (知識経験者)	2名
40名		

京都府共同募金会
宇治市共同募金委員会
会長 宇治市長

理事 15名	会長	1名
	副会長	3名
	常務理事	1名
	理事	10名

監事 2名

